

日本図書館協会レファレンス演習 レジューメ

2004年3月 大串夏身(昭和女子大学)

1、演習のねらい

- (1)実際に図書館に寄せられている質問を取り上げて回答を作成する。
- (2)回答を比較・分析して講評を行う。
- (3)各人の回答を実際の回答と比較して検討する。(実際の回答がよりよかったとは限らない)
- (4)各図書館のレファレンスブック、レファレンス情報源の内容をチェックする。⇒それぞれの図書館の全体の中での位置を確認する。
- (5)調べ方について検討する。⇒情報源の組織化⇒効率的で的確な調査の方法
- (6)今後のレファレンス質問・回答サービスの、それぞれの図書館のレベルアップの方法について検討する。
- (7)そのほか

新しいレファレンス情報源、検索方法などについて情報交換、理解を深める。

2、本日の進め方について

- (1)今回は問題の数も少なく、また講評・検討の時間も少ないので、ポイントだけふれます。
⇒資料は持ち帰って自習用に使ってください。また、館内研修用としても使っていただいて結構です。
- (2)次のように進めます
 - ①進め方について
 - ②演習問題の回答について講評 ⇒ 演習問題一覧、資料1から22参照
回答用紙への記載レベルは、利用者への説明、引き継ぎの時に「資料」となるレベルで書く必要がある。⇒レファレンス質問・回答サービスは組織として行うもの
すべての係員が同じ質問に対しては一定の水準以上の回答ができること
 - ③別資料についてコメント ⇒ 別資料1から5参照
 - ④これからのレファレンス質問・回答サービスについて
 - (a)調べ方
 - (b)インターネット情報源の活用
 - (c)有料データベースの活用
 - (d)そのほか
 - ⑤質疑応答